



みなさん、こんにちは。

今日は、業務紹介第 11 弾として、航空分野のうち建築系の業務内容を、港湾局海岸・防災課危機管理室高島専門官（入省 7 年目）より語ってもらいました！（前職：航空局航空ネットワーク部空港技術課空港国際業務推進室主査）



パラオ出張

（右から二人目：パラオ大統領、一番左：高島専門官（入省 7 年目））

1. 航空分野のうち建築系業務の国交省における役割を教えてください。

航空分野の建築系職員は、「空港の施設整備」が主に担当する業務となります。「施設」とひとことに言っても、管制用の精密機械や巨大な土木施設である滑走路、そして旅客が利用するターミナルビルなど多岐に渡っています。航空分野の建築系職員においては、建築系だけでなく、これら管制系や土木系などとも連携しながら業務に取り組むことが求められています。また国内の空港だけでなく、海外の空港における施設整備に係る業務を行うこともあります。

2. 現在の目玉施策を教えてください。

航空局では、空港及び航空交通システム等に関する我が国企業が有する質の高い技術やノウハウ、高度なシステム等の航空インフラの海外展開を推進するため、2013 年 4 月、本邦企業、関係機関等からなる航空インフラ国際展開協議会を設立しました。「未来投資戦略」や「インフラシステム輸出戦略」等の政府方針に基づきながら、本協議会による活動を主軸として、海外の航空インフラ市場における案件の獲得に向け、関係者間での情報の共有や案件の発掘・推進など官民一体となった取組を進めています。

3. ご自身が担当されている業務内容について教えてください。

海外空港における建設・拡張等の整備案件については、我が国企業による案件獲得が着実に進むよう、ODA 等の魅力的なファイナンススキームを活用した案件形成に取り組むとともに、民間の資金、技術等を活用した PPP 案件へも積極的に関与するなど案件獲得に向けた取組の推進を図っています。また近年増加基調にある運営案件については、これまでの我が国の支援に



より結びつきが強い国等において ODA スキームとも連携し、整備案件のみならずその後の運営案件の獲得を目指すとともに、JOIN や JICA 等の政府系機関との連携を強化し、我が国の空港オペレーター等との官民一体となった取組の強化を進めています。

4. 苦労する点や、やりがいについて教えてください。

我が国企業が海外空港での整備・運営等の案件獲得を進めるため、航空局としては相手国政府の当局への GtoG の協議等を行うことが求められますが、これにあたり、我が国における空港整備や運営に関することは当然のことながら、相手国の文化的背景や政治状況、航空インフラの発展経緯や見通し等に関する幅広い見識が必要になります。これらを踏まえ、相手国への効果的な提案や我が国企業への支援を行うことが重要です。苦労する点はとても多いですが、国と国どうしの案件形成が進んでいくことは非常にやりがいのあるものだと思います。

5. 国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします。

国土交通省は、我々の暮らしを支える仕事から経済活動全体を牽引する仕事、交通などのインフラから観光、また地方の現場から海外など、非常に幅広い分野で活躍することができます。また、空港や港湾の整備など、自分の携わった仕事が目に見える形で残ることも大きな魅力の一つだと思います。是非一緒に働きましょう。



ICAO 本部ビル



ハバロフスク国際空港